

新年あけましておめでとうございます

第11号 平成29年1月10日(火)発行

東京学芸大学附属大泉小学校

学校長 鎌田直純

明けましておめでとうございます。本年もよろしく願いいたします。

皆さまはどのようなお正月を迎えられましたでしょうか。私は毎年郷里の愛媛・松山でお正月を過ごしています。実家のお雑煮は丸いお餅で焼かず、昆布・鰹節の出汁で薄味のすまし汁です。同じ四国の中でも香川では甘い餡子入りのお餅、麦味噌で作るのが一般的だそうですが、松山でもそのような作り方をするところもあるそうです。山の方には、お餅は禁忌で、豆類で作るお雑煮の餅なし正月の風習の残るところもあると聞きます。四国ですらそうなのですから、全国には色々なお雑煮が存在するのでしょう。日本と一口に言っても、一面ではなく古代以来の色々な文化が多層に重なっていて、現代でもそれらが見え隠れするのが、とても興味深いと思います。例えば日本の伝統音楽には、楽器と共に中国大陸や朝鮮半島から伝わり、雅楽のようにほとんど形を変えなかった音楽もありますが、日本固有の文化と北東アジア、南方から海を伝って流れてきた文化などが交り合い、独自の個性的な伝統音楽を形作ったものも多くあります。現代においても同様に、グローバル社会の中で、日本には世界のいろいろな文化が流れ込み、時にはぶつかり合い、照応しながら新たな文化を生み出しています。

さて3学期は卒業、そして学年最後のまとめの期間です。2月末にはお別れ音楽会が開かれます。下級生は6年生のお世話になったお兄さん、お姉さんを、心を込めて音楽で送り出します。6年生はそれに応じて、後輩たちに向けて、励ましの気持ちで自分たちで作ったオペレッタを上演します。私自身この音楽会をとっても楽しみにしています。大泉小学校の子どもたちの心が一つになり、6年生は新たな世界に羽ばたき、5年生が最上級生になり、新年度からのリーダーとなります。3学期は、その準備の期間でもあります。6年生は自信を持って巣立っていくことができるように、5年生は最上級生としての自覚を持つように、1～4年生は新入生を温かく迎えらるるように、3学期を充実した成長の時にできるよう、教職員一同努めてまいりたいと思います。

また、来る1月28日(土)に、本校で全国に向けて公開の研究発表会を開催いたします。今回は「グローバル社会に生きる力を育む」という総合テーマで行われ、大きく二つの内容で構成されます。まずUOI 単元(探求学習)の開発について、そしてアクティブ・ラーニング(能動的学習)の実践についてです。開催にあたりましては、多くの皆様にご支援、ご協力をいただくこととなりますが、どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、今年一年が皆様にとりまして、素晴らしい年となりますよう、心よりお祈りいたします。